

個人・法人対象 『Nano』 無料トライアルのお知らせ



このたびシュプリング・ネイチャーでは、図書館だけでなく、研究者や研究室単位でもお申込みいただける、『Nature Research Solution - Nano』の無料トライアルを開始いたします。

個人・研究室のお申込み方法

以下のウェブフォームより、個人、もしくは研究室・研究部署より、個々にお申込みいただくことが可能です。

トライアル申し込みフォーム

<https://qooker.jp/Q/auto/ja/nano/trial2016/>

トライアル開催期間

2017年1月1日から1か月間ご提供します。

法人のお申込み方法

大学図書館、政府研究機関、企業研究室など、法人のお客様のトライアルお申し込みは随時承ります。トライアル期間のご相談は弊社セールス担当、もしくはウェブフォーム (nature.asia/jp-contact) までご連絡下さい。

Nano とは？

影響力の高いジャーナルや特許情報をもとに、丁寧にインデックスされたナノマテリアルおよびナノデバイスに関する情報を体系的に提供するデータベースです。

2016年6月、Nanoは研究者向けの高品質な製品およびサービスを提供するNature Researchのポートフォリオに新しく加わりました。学術界・企業・政府関連の研究者のニーズに応えるべく開発されたNanoは、データベースとディスカバリーツール両方の主要な特徴を兼ね備えています。専門家の手作業により精選された20万件を超えるナノマテリアルおよびナノデバイスについて、その物性や合成方法、応用に関する情報などのプロファイルが利用可能です。

詳細は以下をご参照ください。

Nano コンテンツ: nano.nature.com

製品パンフレット (日本語)

www.springer.jp/database/files/Nano_Brochure_Sep2016.pdf

検索事例 (日本語)

www.springer.jp/database/files/Nano_Use_Cases_July2016.pdf

LIBRARIAN NEWSLETTER

November & December
2016

Springer Nature の出版物およびサービスより、
Nature 関連トピックをご紹介します。

CONTENTS

個人・法人対象

『Nano』 無料トライアルのお知らせ



Nature Research が2018年
Nature Sustainability 創刊を発表



シュプリング・ネイチャー
Protocols and Methods
Portfolio のご紹介



2017年1月刊行開始！
Nature Research 創刊誌



Nature Microbiology
著者インタビュー



Nature ダイジェスト
2016年アクセスランキングTOP3



Nature Index 2016
Collaborations
東京が研究パートナーシップの「ハブ」に

Nature Research は、新しいジャーナル、 *Nature Sustainability* の創刊を発表します。

2018年1月に創刊する *Nature Sustainability* は、「限りある世界で、人類はいかに生命を持続できるか」をめぐる重要な論文を掲載し、現代の最も切迫した問題に切り込む学術論文を発表するという、シュプリンガー・ネイチャーの長年の取り組みをさらに後押しします。

Nature Sustainability は2017年初めに投稿論文の受付を開始し、*Nature Climate Change*、*Nature Energy*、近日創刊の *Nature Human Behaviour* などのジャーナルに共通する学際的モデルを踏襲します。

編集部を率いるチーフ・エディターは Monica Contestabile です。環境経済学者として、*Nature Climate Change* のシニア・エディター、WWF-UK の持続可能な消費に関する研究の責任者などを歴任した彼女は、次のようにコメントしています。「サステナビリティ（持続可能性）は、新たな研究分野として急速に発展しています。この分野からは、学術界でのサステナビリティ研究の重要性を高め、学際的な新たな連携の確立を支援しつつ、大学外のサステナビリティ研究の認知度も高めることができるジャーナルの必要性が強く訴えられていました。*Nature Sustainability* では、サステナビリティ全般に及ぶさまざまな研究論文、その政策的側面や考えられる解決策の掲載に力を入れます。それにより、サステナビリティ研究の大きな進歩の全体像を示すことができます」

Nature Sustainability は、環境の劣化、自然資源の枯渇、大規模な移住、社会経済的不平等、社会基盤の障害やその相互作用など、さまざまな問題の原因と結果を理解するための研究発表の場を提供します。また、人間の営みを推進する要因、それらが環境や社会に与える影響に関する新しい研究に加え、生態系と全地球人の幸福を維持するための、技術的、社会基盤的、制度的な解決策を明らかにする応用研究も掲載します。

Nature Research のパブリッシング・ディレクター、James Butcher は次のように述べています。「*Nature Sustainability* を、自然科学、社会科学、工学の分野から広く寄せられる研究論文や意見を発表するための場、さらには独創的で影響力が高い研究者中心のジャーナルとして創刊します。2015年に国際連合加盟193カ国により採択された『持続可能な開発目標』の実現を支援・促進する研究論文が数多く集まることを目指します。また、持続可能な未来の構築をめぐる政治的・政策的側面を掘

り下げ、研究を具体的な行動や対策につなげるのも役割の1つです。従って、このジャーナルは、学術界、NGO、政策担当者にとって意味のある存在となるでしょう」。

Nature Sustainability を含め全ての Nature 関連誌は、公正かつ厳格な査読プロセス、編集・制作に関する高い基準、迅速な出版、編集の独立性を特徴とします。一次研究論文に加え、Review、Commentary、Feature、Perspective、News & Viewsなどを掲載し、サステナビリティ研究分野内外の広範囲な読者のために、サステナビリティ関連問題の最新動向を分かりやすく紹介します。

Nature Sustainability はオンラインで提供される有料購読誌で、シュプリンガー・ネイチャー所有のポートフォリオ全体に拡大されたコンテンツ・シェアリング・サービス、SharedItの対象となります。SharedItは論文著者と購読者に、査読済み研究論文を共有できる無料閲覧リンクを提供するとともに、200以上の主要メディアおよびブログが、研究論文の無料閲覧版へのリンクを張れるようにするサービスです。

ネイチャー・リサーチについて

ネイチャー・リサーチは、生命科学・物理学・化学・応用科学など多岐にわたる分野で高品質のジャーナル、オンラインデータベース、研究者を対象としたサービスなど、科学界への貢献を目的としたサービスから成るポートフォリオを提供しています。*Nature* (1869年創刊) は世界有数の週刊の国際科学雑誌で、ブランドの中核を成すものです。ネイチャー・リサーチはまた、定期購読用のさまざまな Nature 関連誌と *Nature Review* 誌、さらには、オープンアクセスの分野横断的ジャーナルである *Nature Communications* やメガジャーナルである *Scientific Reports*、その他 Nature パートナージャーナルとして知られるさまざまなパートナージャーナルなどのオープンアクセス誌も提供しています。オンラインの *nature.com* には、1カ月当たり800万人を超えるユーザーが訪れ、*Nature* のニュース記事やコメント記事、そして非常に優れた科学求人サイトである *Naturejobs* などのサービスにアクセスしています。また、ネイチャー・リサーチは、オンラインおよび対面によるトレーニングや専門家による言語・編集サービスなど、さまざまな研究サービスも提供しています。

ネイチャー・リサーチは、研究、教育、専門領域において世界をリードする出版社であるシュプリンガー・ネイチャーの一部です。

※本プレスリリースの原本は英語であり、日本語は参考翻訳です。
プレスリリース原文（英語）
www.nature.com/press_releases/nature-sustainability.html

Springer Nature Protocols and Methods Portfolio のご紹介

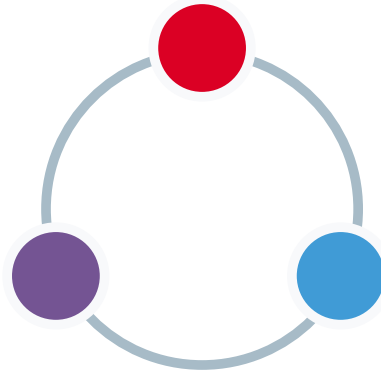
研究と実験に必要な方法論をご提供するジャーナル、*Nature Methods*、*Nature Protocols*、および共にご利用いただける弊社データベース、SpringerProtocolsをご紹介します。これら3点を併用いただくことにより、最先端研究のメソッド、定評のある標準プロトコルから、新規テクニックのプロトコルまで幅広くカバーすることができます。

Nature Methods

オリジナルの最先端研究のメソッドを論文形態で提供

Nature Protocols

*Nature Method*を含む、一流誌掲載論文で取り上げられた、新規テクニックのプロトコルを、迅速に収録



SpringerProtocols

30年以上にわたり収集した標準プロトコル40,000以上を書籍形態で編集し収録。*Nature Method*でとりあげられたプロトコルも含む。

nature|methods

www.nature.com/nmeth

生命科学における方法研究の重要な進展を伝えるジャーナル

- 新たな研究・実験方法を発表することを目的としたユニークな学際的フォーラム
- 厳格な査読を経た、質が高く実用的なメソッドを1,200以上提供(2016現在)
- Impact Factor (2015) : 25.328

**nature
protocols**

www.nature.com/nprot

影響力の強い研究論文で使用された、最新の実験プロトコルを収録したインタラクティブなジャーナル

- 一流誌掲載の論文で使用されたプロトコルを編集チームが執筆依頼
- 査読済みプロトコルのみ掲載
- オリジナルの研究論文にはない実用情報も提供
- Impact Factor (2015) : 9.646
- 研究用プロトコルの投稿および共有のためのオープンリポジトリである、*Protocol Exchange*を提供



Springer Protocols

www.springerprotocols.com

トピックごとに多数のプロトコルを書籍形態で提供する、実験プロトコルのデータベース

- 収録プロトコル数40,000点以上、冊子書籍にして1,700冊分を収録した世界最大のプロトコル・データベース
- 定評あるブックシリーズ *Methods in Molecular Biology* を、創刊号より約30年分全巻収録
- 細胞生物学から癌研究、植物学、生物情報学まで、広範な領域を網羅
- SpringerLinkでも利用できるので、ジャーナルやeBookなど他のコンテンツとシームレスに利用可能

お客様のニーズやご予算に合わせて、Springer Nature Protocols and Methods Portfolio のご利用形態をご提案させていただきます。お見積とトライアルのご相談は、弊社セールス担当、もしくは以下にお問い合わせください。

TEL 03-3267-8769 / FAX 03-3267-8746 / ウェブフォーム : nature.asia/jp-contact

2017年創刊誌 まもなく刊行開始！

natureasia.comの各2017年1月創刊Nature Research誌ウェブページでは、『注目のハイライト』の配信を順次開始いたしました。創刊後は各誌の主なコンテンツのアブストラクトを、日本語でご紹介します。情報更新のお知らせや、Nature関連イベント、各種キャンペーンのお知らせが届くメルマガに登録をして、最新の情報をご活用ください。

メルマガ登録ウェブフォーム：www.natureasia.com/secure/ja-jp/register/

nature
astronomy

www.natureasia.com/ja-jp/natastron

nature
biomedical engineering

www.natureasia.com/ja-jp/natbiomedeng

nature
ecology & evolution

www.natureasia.com/ja-jp/natecolevol

nature
human behaviour

www.natureasia.com/ja-jp/nathumbehav

nature
REVIEWS
CHEMISTRY

www.natureasia.com/ja-jp/natrevchem

Nature Microbiology 著者インタビュー

nature
microbiology

著者インタビュー無料公開中

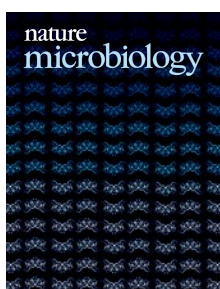
Nature Microbiologyに論文が掲載された著者の皆様に、今回の研究論文について、また掲載に至る過程での経験談をお聞きいたしました。ご所属機関のエンドユーザーのみなさまにぜひご紹介ください。

著者インタビュー：腸粘膜が分泌する、悪玉菌を一括して抑えるIgA抗体を発見！

新蔵 礼子氏、岡井 晋作氏、臼井 文人氏（奈良先端科学技術大学院大学）

ヒトの腸内には、最大で数千種類、1000兆個にも及ぶ腸内細菌が住み着いているといわれています。菌の種類や数は食生活や健康状態によって大きく変わるとされ、腸内細菌叢がさまざまな疾患に関与していることもわかってきました。奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）の新蔵礼子教授らは、腸粘膜で分泌されるIgA抗体を1種ずつ分離し、その一つに腸内細菌に幅広く結合し、増殖を抑える機能があることを突き止めました。

www.natureasia.com/ja-jp/nmicrobiol/interview/7



Volume 1 Issue 9

Nature Microbiology 2016年9月号掲載論文

高親和性モノクローナルIgAはマウスの腸内微生物相を調節し、大腸炎を防止する

High-affinity monoclonal IgA regulates gut microbiota and prevents colitis in mice

Nature Microbiology 1: 16103 doi:10.1038/nmicrobiol.2016.103

www.nature.com/articles/nmicrobiol2016103

Nature Microbiology 著者インタビュー

著者インタビュー：D-アミノ酸による腸内細菌と宿主哺乳類の相互作用

笹部 潤平氏（慶應義塾大学医学部解剖学 専任講師）

タンパク質を構成するアミノ酸には、L-アミノ酸とD-アミノ酸といった、分子構造が鏡像関係にある2つの光学異性体が存在します。あらゆる生物界で広く利用されているL-アミノ酸に比べ、D-アミノ酸はマイナーな存在ですが、L-アミノ酸とは異なる重要な役割を担っていることが解明され始めています。今回、慶應義塾大学医学部の笹部潤平専任講師は、腸内細菌の作るD-アミノ酸に着目し、それが、宿主である我々の体にとってどんな意味を持つのか、初めて明らかにしました。

www.natureasia.com/ja-jp/nmicrobiol/interview/8



Volume 1 Issue 10

Nature Microbiology 2016年10月号掲載論文

微生物のD-アミノ酸と宿主のD-アミノ酸酸化酵素の相互作用はマウスの粘膜防御および腸内微生物相を修飾する

Interplay between microbial D-amino acids and host D-amino acid oxidase modifies murine mucosal defence and gut microbiota

Nature Microbiology 1 : 16125 doi:10.1038/nmicrobiol.2016.125

www.nature.com/articles/nmicrobiol2016125

著者インタビュー：

細胞の個性を探るイメージング装置開発 — 誘導ラマン顕微鏡でミドリムシの代謝を調べる

合田 圭介氏、小関 泰之氏、鈴木 祐太氏、脇坂 佳史氏（東京大学大学院理学系研究科および工学系研究科）

生きている細胞を無染色のまま、高速に画像化する誘導ラマン顕微鏡。そのスペックを大きく向上させて素早く動き回るミドリムシを画像化し、さまざまな環境下での物質代謝がミドリムシ個体間でどう異なっているかを、東京大学の研究グループが明らかにしました。今回の成果により、例えば生産性の高い微生物個体を見つけ出すことが可能になるなど、さまざまなバイオ産業への応用が期待されています。

www.natureasia.com/ja-jp/nmicrobiol/interview/9



Volume 1 Issue 10

Nature Microbiology 2016年10月号掲載論文

誘導ラマン散乱顕微鏡法を利用して、生きた微細藻類 *Euglena gracilis* の代謝多様性を探索する

Probing the metabolic heterogeneity of live *Euglena gracilis* with stimulated Raman scattering microscopy

Nature Microbiology 1: 16124 doi:10.1038/nmicrobiol.2016.124

www.nature.com/articles/nmicrobiol2016124

Nature Microbiology の閲覧には本誌の購読が必要です。

機関購読の見積、および法人向けサイトライセンス無料トライアルのお申し込みは、最寄りの購読代理店、弊社セールス担当もしくはウェブフォーム（nature.asia/jp-contact）までご連絡下さい。

2016年 アクセスランキング TOP 3

本年のNatureダイジェスト掲載コンテンツから、最もアクセスの多かった3つの記事をご紹介します。

第1位



Melanie Conick/MIT

2016年7月号

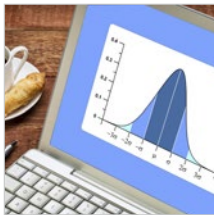
たるんだ肌を若返らせる薄膜 (無料公開記事)

塗布するだけで、たるんだ皮膚に若々しい弾性がよみがえる、透明なシリコンポリマーが開発された。

材料科学者と化粧品会社の共同研究により、たるんだ肌に若々しい弾力をもたらす透明なシリコン系薄膜が世界で初めて開発された。この研究を率いたマサチューセッツ工科大学（米国 ケンブリッジ）の生物工学者Robert Langerによると、この薄膜は2種類のゲルを顔などの体表に塗布することによって形成され、ひとたび固まれば16時間以上も皮膚に密着できるという。

www.natureasia.com/ja-jp/ndigest/v13/n7/たるんだ肌を若返らせる薄膜/76210

第2位



marekulasz/Stock / Getty Images Plus/Getty

2016年6月号

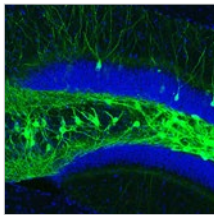
p値の誤用の蔓延に米国統計学会が警告

科学者によるp値の誤用を止めるため、米国統計学会（ASA）が異例の声明を出した。

2016年3月8日、米国統計学会（American Statistical Association ; ASA）は、科学者の間でp値の誤用が蔓延していることが、多くの研究成果を再現できないものにする一因になっていると警告した。ASAは、科学的証拠の強さを判断するために広く用いられているp値について、「p値では、仮説が真であるか否か、あるいは、結果が重要であるか否かの判断はできない」として、その利用法の指針を発表するという異例の動きに出た。

www.natureasia.com/ja-jp/ndigest/v13/n6/p値の誤用の蔓延に米国統計学会が警告/75248

第3位



Dheeraj Roy

2016年5月号

アルツハイマー病マウスで記憶が回復 (無料公開記事)

アルツハイマー病の患者でも記憶を形成できることを示唆する研究結果が発表され、新たな治療への期待が膨らんできた。

アルツハイマー病を患う人は、人の顔や、自分が普段よく使っている物を置いた場所を忘れてしまうことがある。その理由は、脳がそうした記憶の格納場所を見つけられなくなることにある可能性が、マウスを使った実験で示唆された。

www.natureasia.com/ja-jp/ndigest/v13/n5/アルツハイマー病マウスで記憶が回復/74302

Nature ダイジェストは、科学誌 *Nature* の大切な部分をまとめた二次情報誌です。さまざまな分野を包括的に取り上げ、日本語で再編集しているので、異分野英語に悩まされることなく科学の動向を追うことができます。研究者・科学者だけではなく、企業運営者、学生、教育者など、科学に従事する幅広い層にご愛読いただけます。

ご購入はお近くの購読代理店、洋書取扱い書店、
もしくはお問い合わせウェブフォーム
(nature.asia/jp-contact) にお申込み下さい



12 月号掲載内容

天才児の見つけ方、育て方

「オートファジー」の解明にノーベル医学・生理学賞
2次元エキゾチック材料の理論にノーベル物理学賞
ノーベル化学賞はナノマシンに 他



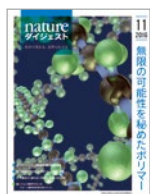
研究のヒントに



視野と知識の拡大に



教材としても
ご利用ください！



11 月号「無限の可能性を秘めたポリマー」

アルツハイマー病新薬候補で認知機能低下が鈍化
37 億年前の「生命の痕跡」を発見か
人工ブラックホールで「ホーキング放射」を確認 他



8 月号「ヒト胚研究、ついに未知領域へ」

自然界の 5 番目の力を発見？
セシウム使用中止の圧力に苦悩する生物学者たち
免疫から逃れるがん特有のゲノム異常発見 他



10 月号「人類起源にアジアからの挑戦状」

自然界の 5 番目の力を発見？
セシウム使用中止の圧力に苦悩する生物学者たち
免疫から逃れるがん特有のゲノム異常発見 他



7 月号「がんの進化を治療に利用する」

たるんだ肌を若返らせる薄膜
助成金申請却下に不服申立てができる？
実験用マウスの免疫系は未発達のまま 他



9 月号「人工多能性幹細胞の 10 年」

地球の内核と磁場形成に新たな議論！
鏡像型 DNA を複製できる酵素、登場！
体内の樹状細胞を活性化できるがんワクチン 他



6 月号「未来をひらく虹、ナノ蛍光体」

巨大ウイルスにも CRISPR 様の「免疫系」が！
p 値の誤用の蔓延に米国統計学会が警告
水から高効率で酸素と電子を生む鉄触媒 他

スポットライト : Nature Index 2016 Collaborations

東京が研究パートナーシップの「ハブ」に

東京は共同研究の中心地となっていることが、Natureの特別企画冊子「Nature Index 2016 Collaboration」で明らかになりました。(以下URLにて無料公開)

natureindex.com/supplements/nature-index-2016-collaborations/index

2015年の各都市における研究パートナーシップの数で第2位に位置付けられています。Nature Indexに含まれる68誌の自然科学系ジャーナルに掲載された論文において、2つの大学や研究機関からの著者による共著で東京の機関を含むものは920件を超えます。

Nature Index 2016 Collaborationsによれば、東京の研究パートナーシップの中心的存在となっているのは、同Indexで日本最高位にランクされる東京大学です。東京大学は、昨年東京で成立したパートナーシップの8分の1に関わっており、これには強力なパートナーシップ上位10件のうちの8件が含まれます。そのうち論文出版に最も寄与した共同研究は、理化学研究所 創発物性科学研究センターとのものです。

Nature Indexの創設者であるDavid Swinbanksは次のように述べています。「創発物性科学研究センターが設立後間もないことを考えると、東京大学と同センターのパートナーシップの強さは目を見張るものがあります。」

Nature Index 2016 Collaborationsからはまた、科学の分野では国際的な共同研究が至る所で見られることも分かります。複数国の著者が関わる論文は、2012年から2015年にかけて増加の一途をたどり、Nature Indexが2015年に追跡した全論文の43%を占めるまでになりました。この傾向は、質の高い科学を生み出す上で、国際パートナーシップの重要性や貢献度が高まっていることをはっきりと表しています。

東京の研究パートナーシップに関する、さらに詳しい情報については、ウェブページをご覧ください。

natureindex.com/supplements/nature-index-2016-collaborations/tokyo



Nature Indexについて

Nature Indexは、世界トップクラスの研究成果を国・機関別にプロファイリングするデータベースです。

- ・研究者が自身の最高研究成果を発表したいジャーナルとして選んだ68誌を厳選収録
- ・世界の国々と8000機関以上の研究プロファイルに容易にアクセス
- ・最新の研究成果を報告する原著論文のみを収録
- ・2012年以降のデータを収録（毎月更新）
- ・クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの下で無料公開

ライブラリアン・ニュース ご登録のお願い

当ライブラリアン・ニュースレターは2016年2月号より、Springer Natureの出版物、およびサービスより、Nature関連情報を中心に、図書館向け情報を抜粋してお届けしています。弊社ライブラリアン・ニュースにご登録のみなさまには、ライブラリアン・ニュースレター最新号配信のお知らせの他に、イベント開催のお知らせ、無料トライアルやディスカウントキャンペーンのお知らせ、弊社からの重要なお知らせ（プレスリリース等）を、随時メールにてお届けいたします。

ライブラリアン・ニュースご登録をご要望の方は、お名前、ご所属機関名、部署名をお書き添えの上、以下へメールにてお申込み下さい。

ご登録のお申込み先

Email: sl_sales@nature.com (担当: マーケティング 小林 真紀)

Librarian Newsletter Nature 関連アップデート 11月、12月合併号 (2016年12月16日発行)

シュプリングァー・ネイチャー

インスティテューショナル・マーケティング (編集担当: 小林 真紀)

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-37 千代田ビル

TEL: 03-4570-6710 / FAX: 03-3267-8746

Email: sl_sales@nature.com

SPRINGER NATURE